

事業番号	事務事業名	特用林産物生産事業	所管課名	産業観光課	令和 3 年度課長名	小椋 正己
04121	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	林務係	担当者・シート作成者	柴田 和紀
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	上齋原地域特産の原木なめこ、新たに生産を始めたきくらの安定した生産量、供給を行う。町内飲食店へ年間通じての供給のため冷凍保存方法を試行した。	平成28年度に地方創生交付金を活用した生産施設を整備し、平成29年度より商品開発を行う。従来の生産方法では、安定的な供給が難しく、また加工品の種類も限られていたため、生産の安定化、新商品の開発を行うことにより、産業振興を図る必要があったため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 原木なめこ生産量	ア 原木伏せ込み本数	本	見込 実績	18,700 12,173	18,700 14,852	18,700 17,679	18,700	18,700
イ きくらげ生産量	イ 収穫量	kg	見込 実績	900 745	900 759	900 684	900	900
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 生産量の拡大	ア 原木伏せ込み本数	本	目標 実績 達成率	18,700 12,173 65.1%	18,700 14,852 79.4%	18,700 17,679 94.5%	18,700	18,700
イ 生産量の拡大	イ 収穫量	kg	目標 実績 達成率	900 745 82.8%	900 759 84.3%	900 684 76.0%	900	900
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 生産委託	ア 委託件数	件	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1
イ 生産委託	イ 委託件数	件	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		06		02		03		03 中事業					事業番号
	一般会計		農林水産業費		林業費		林業施設費		51 03 特用林産物生産事業					
1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	04121	
国庫支出金	1,400						国庫支出金	1,400						
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財	300	500	2,500	2,000	2,000	2,000	その他特財	1,618	2,624	1,958	2,000	2,000	-666	
一般財源	10,379	9,617	7,585	8,014	8,014	-2,032	一般財源	8,276	7,457	8,125	8,014	8,014	668	
合計	12,079	10,117	10,085	10,014	10,014	-32	合計(A)	11,294	10,081	10,083	10,014	10,014	2	
財源名称	特用林産物販売収入					従事正職員人数		1	1	1	1	1		
						延べ業務事務時間		200	200	200	200	200		
						人件費計(千円)(B)		700	669	670	684	684	1	
	最終予算額		10,085 千円		予算執行率	99.9%		トータルコスト(A+B)		11,994	10,750	10,753	10,698	10,698
主な 支出事業内容 (予算)	光熱水費				38 千円		主な 支出事業内容 (決算)	光熱水費				37 千円		
	修繕料(物品修繕)				92 千円			修繕料(物品修繕)				91 千円		
	委託料				9,955 千円			委託料				9,955 千円		

事業番号	04121	事務事業名	特用林産物生産事業	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	-----------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
上齋原地域の特産品である原木なめこは生産者の高齢化により、生産量が減少している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
作州かがみの森林組合が主に生産に取組んでいたが、生産者の高齢化、生産量の減少等により原木なめこ事業からの撤退を表明していた。上齋原地域で古くから生産されてきた地域特産品の原木なめこが消滅することに町は危機感を抱き、原木なめこ等商品開発事業としてテコ入れするもの。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
新たな特産品の開発による雇用の増加等を期待する声がある。天候、気候による生産量の増減が激しく、さらに通年収穫できるものでないため活用が難しい。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由説明</b> 原木の切り出しにより広葉樹の活用が図られ、新たな林業の活性化に結び付く。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由説明</b> 衰退しつつある特産品の再興を図ることを目的としており、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由説明</b> 衰退しつつある特産品の再興を図ることを目的としており、妥当である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由説明</b> 原木の伏せ込み本数は目標に達していないが、種駒の数量は目標に達している。伏せ込み場の湿度、温度、日照時間等の調査を行い、適した発生条件を模索する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由説明</b> 現在、原木なめこときくらの販売収入のみでは採算が合っていないため、廃止すると影響がある。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由説明</b> 原木の伏せ込み本数は目標に達していないが、種駒の数量は目標に達している。伏せ込み場の湿度、温度、日照時間等の調査を行い、適した発生条件を模索する。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 駒打ち、収穫時期に限り地元住民を雇用するなど人件費の削減を行っており、削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由説明</b> 職員1名で業務を行っており、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由説明</b> 特産品の再興とさらなる振興を目的としており、公平であると考える。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠	
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	今年度は天候、気候の影響で生産量が激減した。発生条件を調査し、安定した供給ができるよう改善したい。また、新型コロナウイルスの影響で、共同でレシピ開発を行うなどの活動ができなかった。	
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針	
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 	
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題			
(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			